

米国等で行われている**CSA(コミュニティ支援型農業)**とは？
 県内外の先進事例を紹介し、中山間地域等における農林水産業の
 新たな事業展開の可能性を探ります。

6次産業化ワークショップ

参加無料

「いわて型CSA」の可能性を探る

令和2年 **2月7日(金)** PM1:30-3:30

イオンモール盛岡
 2階イオンホール
 (盛岡市前潟4-7-1)



門田 一徳 氏

● 講演 農業大国アメリカで広がる産直スタイルCSAとは

講師プロフィール もんでん・かずのり 河北新報記者。1973年、宮城県大崎市生まれ。明治大学文学部卒。1997年に河北新報社入社。青森総局、東京支社、本社報道部などを経て2019年4月から栗原支局。2006年、大崎市の「鳴子の米プロジェクト」の取材でコミュニティ支援型農業(CSA)を知る。東日本大震災後、「東北食べる通信」など被災地のCSAを報道。「日米教育委員会」の2016年度フルブライト・ジャーナリストとして10ヵ月、アメリカ・ニューヨーク州のコネル大学の客員研究員に就き、CSAの先進事例を取材。2017年8月、「河北新報」朝刊で7回連載「米国流直売経済」を担当した。

● 事例紹介

鳴子の米プロジェクト (宮城県)
 道の駅にしね (八幡平市)
 オネットマーケットプラン(株) (矢巾町)

上野 健夫 氏
 高村 佐知子 氏
 小野 節子 氏

● 対象 生産者の皆さま、産直の皆さま、行政関係の皆さま、地域おこし協力隊の皆さま、
 「CSA」に興味を持った方どなたでも参加可能



申込書 (1/31) FAX019-651-7172 主催/県農林水産部流通課(Tel019-629-5733)

ふりがな 所属(団体名)			
連絡先	電話		メール
申込担当者	役職		ふりがな 氏名
出席者①	役職		ふりがな 氏名
出席者②	役職		ふりがな 氏名

※参加無料ですが、会場までの交通費は各自負担となります。 ※申し込みは先着順となります。定員を超えた場合は、調整となる場合があります。
 ※記入いただいた情報は連絡/配布資料に使用し、それ以外の目的には使用しません。